# 平成30年度 第4回 小倉記念病院治験審査委員会会議の記録の概要

開催日時 | 平成30年7月23日(月) 17:15~18:15 開催場所 小倉記念病院 第3-1 会議室 出席委員名 大渕 美帆子、安藤 献児、宮崎 博章、村田 建一郎、里田 佳代子、入江 利行、 福地 誠、野田 耕作、德丸 由香里、井芹 信彦、吉崎 邦子、服部 貴明 欠席委員名 原田 健司

### 議題及び審議 【新規治験の審議】

# な議論の概要

- 結果を含む主|議題 1. SAVAL 臨床試験:重症下肢虚血患者下腿動脈病変の治療における BSJ013E のラン ダム化比較試験
  - ・これまでに得られている非臨床試験・臨床試験成績に基づき、治験実施の妥当性につい て審議した。

審議結果:承認

## 議題 2. 高血圧疾患に対する PRDS-001 検証試験

・これまでに得られている非臨床試験・臨床試験成績に基づき、治験実施の妥当性につい て審議した。

審議結果:修正の上で承認

#### 【継続審議】

- 議題 1. 日本メドトロニック株式会社の依頼による MDT-2114 ゾタロリムス溶出型 2.0 mm 径ステントの臨床評価
  - ・治験依頼者から報告された安全性情報等に関する報告書に基づき、引き続き治験を 実施することの妥当性について審議した。

審議結果:承認

- 議題 2.アラガン・ジャパン株式会社の依頼による ADN 患者を対象とした Abicipar Pegol の 第Ⅲ相試験
  - ・治験依頼者から報告された安全性情報等に関する報告書に基づき、引き続き治験を 実施することの妥当性について審議した。

審議結果:承認

- 議題 3. アボットメディカルジャパン株式会社の依頼による SJM-201 システムの安全性と有 効性に関する評価試験
  - ・当院で発生した重篤な有害事象について、引き続き治験を実施することの妥当性を審
  - ・治験実施計画書、治験機器概要書の変更について、引き続き治験を実施することの妥 当性を審議した。
  - ・治験依頼者から報告された安全性情報等に関する報告書に基づき、引き続き治験を 実施することの妥当性について審議した。

審議結果:承認

議題 4. 小野薬品工業株式会社の依頼による ONO-1162 第Ⅲ相試験

慢性心不全に対するプラセボを対照とした多施設共同二重盲検無作為化並行群間比較 試験

- ・当院で発生した重篤な有害事象について、引き続き治験を実施することの妥当性を審 議した。
- ・治験依頼者から報告された安全性情報等に関する報告書に基づき、引き続き治験を 実施することの妥当性について審議した。

審議結果:承認

- 議題 5. 株式会社メディコスヒラタ (治験国内管理人) の依頼による症候性末梢動脈疾患を有する患者の大腿膝窩動脈に使用する BioMimics 3D ステントシステムの安全性及び有効性の評価
  - ・当院で発生した重篤な有害事象について、引き続き治験を実施することの妥当性を審 議した。

審議結果:承認

- 議題 6. バイエル薬品株式会社の依頼による冠動脈疾患又は末梢動脈疾患患者におけるリバーロキサバンによる主要心血管イベントの抑制を検討する無作為化比較試験
  - ・治験薬概要書の変更について、引き続き治験を実施することの妥当性を審議した。
  - ・治験依頼者から報告された安全性情報等に関する報告書に基づき、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。

審議結果:承認

- 議題 7. バイエル薬品株式会社の依頼による下肢血行再建術施行後の症候性末梢動脈疾患患者を対象とした重大な血栓性血管イベントの発現リスクの低減におけるリバーロキサバンの有効性及び安全性を検討する国際共同、多施設共同、無作為化、二重盲検、プラセボ対照第Ⅲ相試験。
  - ・当院で発生した重篤な有害事象について、引き続き治験を実施することの妥当性を審 議した。
  - ・治験薬概要書の変更について、引き続き治験を実施することの妥当性を審議した。
  - ・治験依頼者から報告された安全性情報等に関する報告書に基づき、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。

審議結果:承認

- 議題 8. バイエル薬品株式会社の依頼による糖尿病性腎臓病(DKD)と臨床診断された 2 型糖尿病患者における腎疾患の進行に関して、標準治療に上乗せした finerenone の有効性及び安全性を検討する多施設共同、無作為化、プラセボ対照、二重盲検、並行群間、イベント主導型試験
  - ・当院で発生した重篤な有害事象について、引き続き治験を実施することの妥当性を審 議した。
  - ・治験依頼者から報告された安全性情報等に関する報告書に基づき、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。

- 議題 9. バイエル薬品株式会社の依頼による糖尿病性腎臓病(DKD)と臨床診断された 2 型糖尿病患者における心血管系疾患の罹患率及び死亡率の低下に関して、標準治療に上乗せした finerenone の有効性及び安全性を検討する多施設共同、無作為化、プラセボ対照、二重盲検、並行群間、イベント主導型試験
  - ・治験依頼者から報告された安全性情報等に関する報告書に基づき、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。

審議結果:承認

- 議題 10. グラクソ・スミスクライン株式会社の依頼による保存期患者及び腹膜透析患者を対象とした GSK1278863 の第Ⅲ相試験
  - ・説明文書、同意文書の変更について、引き続き治験を実施することの妥当性を審議した。
  - ・治験依頼者から報告された安全性情報等に関する報告書に基づき、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。

審議結果:承認

- 議題 11. アステラス製薬依頼の腎性貧血(保存期)を対象とする ASP1517 の第Ⅲ相比較試 <sup></sup>
  - ・当院で発生した重篤な有害事象について、引き続き治験を実施することの妥当性を審 議した。
  - ・治験依頼者から報告された安全性情報等に関する報告書に基づき、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。

審議結果:承認

- 議題 12. ニプロ株式会社の依頼による虚血性心疾患患者を対象とした NP023 の多施設共同比較試験(NP023-P01)
  - ・当院で発生した重篤な有害事象について、引き続き治験を実施することの妥当性を審 議した。

審議結果:承認

- 議題 13. 日本新薬株式会社の依頼による慢性血栓塞栓性肺高血圧症を対象とした NS-304 (セレキシパグ) の第 III 相試験
  - ・治験依頼者から報告された安全性情報等に関する報告書に基づき、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。

- 議題 14. アボットメディカルジャパン株式会社の依頼による SJM-401 経カテーテル生体弁 システムの安全性と有効性に関する評価試験
  - ・説明文書、同意文書の変更について、引き続き治験を実施することの妥当性を審議した。
  - ・治験依頼者から報告された安全性情報等に関する報告書に基づき、引き続き治験を実

施することの妥当性について審議した。

審議結果:承認

議題 15. ボストン・サイエンティフィック ジャパン株式会社の依頼による浅大腿動脈及び近位膝窩動脈の治療における BSJ011R と標準的なバルーン血管形成術を比較するランダム化試験

- ・当院で発生した重篤な有害事象について、引き続き治験を実施することの妥当性を審 議した。
- ・治験依頼者から報告された安全性情報等に関する報告書に基づき、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。

審議結果:承認

- 議題 16. 日本人高カリウム血症患者を対象とした ZS (ジルコニウムナトリウム環状ケイ酸塩) の長期安全性を検討する多施設共同、非盲検長期投与第 III 相試験
  - ・治験依頼者から報告された安全性情報等に関する報告書に基づき、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。
  - ・治験期間が1年を超えるため、治験を継続して実施することの妥当性について審議した。

審議結果:承認

- 議題 17. アステラス・アムジェン・バイオファーマ株式会社の依頼による慢性心不全患者を対象とした AMG423 の第Ⅲ相試験
  - ・当院で発生した重篤な有害事象について、引き続き治験を実施することの妥当性を審 議した。
  - ・治験薬概要書の変更について、引き続き治験を実施することの妥当性を審議した。
  - ・治験依頼者から報告された安全性情報等に関する報告書に基づき、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。

審議結果:承認

- 議題 18. 日本たばこ産業株式会社の依頼による腎性貧血を伴う保存期慢性腎臓病患者を対象 とした JTZ-951 の第Ⅲ相試験 (MBA4-1)
  - ・当院で発生した重篤な有害事象について、引き続き治験を実施することの妥当性を審 議した。

審議結果:承認

- 議題 19. バイエル薬品株式会社の依頼による赤血球造血刺激因子製剤治療を受けていない腎性貧血を合併した保存期慢性腎臓病患者を対象とした、経口 molidustat の有効性及び安全性をダルベポエチン アルファと比較検討する無作為化非盲検、実薬対照、並行群間、多施設共同試験
  - ・治験依頼者から報告された安全性情報等に関する報告書に基づき、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。

- 議題 20. バイエル薬品株式会社の依頼による赤血球造血刺激因子製剤にて治療中の腎性貧血を合併した保存期慢性腎臓病患者を対象とした、経口 molidustat の有効性及び安全性をダルベポエチン アルファと比較検討する無作為化非盲検、実薬対照、並行群間、多施設共同試験
  - ・治験依頼者から報告された安全性情報等に関する報告書に基づき、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。

審議結果:承認

- 議題 21. バイエル薬品株式会社の依頼による腎性貧血を合併した腹膜透析患者を対象とした、経口 molidustat の有効性及び安全性を検討する非盲検、多施設共同試験
  - ・治験依頼者から報告された安全性情報等に関する報告書に基づき、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。

審議結果:承認

### 議題 22. 第一三共株式会社の依頼による第 I 相試験

- ・治験薬概要書、説明文書・同意文書の変更について、引き続き治験を実施することの 妥当性を審議した。
- ・治験依頼者から報告された安全性情報等に関する報告書に基づき、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。

審議結果:承認

議題 23. 田辺三菱製薬株式会社の依頼による腎性貧血患者を対象とした試験②

・治験依頼者から報告された安全性情報等に関する報告書に基づき、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。

審議結果:承認

- 議題 24. 日本メドトロニック株式会社の依頼による外科的大動脈弁置換に対し低リスクの患者における MDT-2217/MDT-2317 を用いた経カテーテル大動脈弁置換術
  - ・治験実施計画書、治験分担医師の変更について、引き続き治験を実施することの妥当 性を審議した。
  - ・治験依頼者から報告された安全性情報等に関する報告書に基づき、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。

審議結果:承認

- 議題 25. 田辺三菱製薬による糖尿病性腎症第 3 期(顕性腎症期)患者を対象とした TA-7284 の第Ⅲ相試験
  - ・治験実施計画書、説明文書・同意文書の変更について、引き続き治験を実施すること の妥当性を審議した。
  - ・治験依頼者から報告された安全性情報等に関する報告書に基づき、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。

- 議題 26. 軽度~中等症の活動期潰瘍性大腸炎患者に FE999315 を 8 週間投与した際における 有効性及び安全性を評価する第Ⅲ相、多施設共同、無作為化、二重盲検、実薬対照、 並行群間比較試験
  - ・治験実施計画書、説明文書・同意文書、治験参加カードの変更について、引き続き治 験を実施することの妥当性を審議した。
  - ・治験依頼者から報告された安全性情報等に関する報告書に基づき、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。

審議結果:承認

- 議題 27. 虚血性心疾患患者に対する SMS15001 の医療機器治験
  - ・当院で発生した重篤な有害事象について、引き続き治験を実施することの妥当性を審 議した。
- 議題 28. 大動脈弁置換術を必要とする重度の石灰化大動脈弁狭窄症を有する低リスク患者を対象に EWJ-003 の安全性及び有効性を検証するための前向き, 無作為化, 対照比較, 多施設共同試験
  - ・治験分担医師の変更について、引き続き治験を実施することの妥当性を審議した。

審議結果:承認

- 議題 29. ボストン・サイエンティフィック ジャパン株式会社の依頼による動脈硬化性病変の 治療における BSJ001S の安全性及び有効性を評価する前向き多施設共同試験【製 造販売後臨床試験】
  - ・治験期間が 1 年を超えるため、治験を継続して実施することの妥当性について審議 した。

審議結果:承認

- 議題 30. アボット バスキュラー ジャパン株式会社の依頼による虚血性心疾患被験者に対する AVJ-301 と金属製薬剤溶出型ステントとの比較臨床試験【製造販売後臨床試験】
  - ・治験期間が 1 年を超えるため、治験を継続して実施することの妥当性について審議 した。

審議結果:承認

# 【報告事項】

- 議題 1. 大塚製薬の依頼によるうっ血性心不全患者を対象とした OPC-61815 第Ⅱ相試験
  - ・治験の終了が報告された。
- 議題 2. 第一三共株式会社の依頼による第 I 相試験
  - ・治験分担医師の追加(迅速審査 2018.06.15)について報告された。
- 議題 3. 虚血性心疾患患者に対する SMS15001 の医療機器治験
  - ・目標被験者数の追加(迅速審査2018.06.29)について報告された。

	議題 4. 協和発酵キリン株式会社の依頼による二次性副甲状腺機能亢進症患者を対象とした KHK7580の第Ⅲ相試験(一般臨床試験) ・製造販売承認の取得について報告された。
特記事項	当該治験に利害関係のある委員は審議及び採決には参加していない。